



ニュース№474

‘14. 8. 19

集中したレッスン！ 5曲を練習

8月17日

□8月17日(日)の定例レッスンは佃さんの体操、千秋さんのボイストレーニングに始まり、本並先生の指揮、森さんのピアノで、第10回記念コンサート曲「春を待つ」、伊藤副指揮者の指揮で「初心の歌」、そして本並先生の指揮に戻って「降りつむ」「街を返せ」「アムール河の波」を練習しました。参加者は全33名でした。第10回記念コンサート曲(第1次案)が発表され、オープニング曲「春を待つ」の楽譜を歌ったこと、「初心の歌」が佳境に入ってきたこと、合唱発表会の2曲のレッスンなどで集中した熱のこもるレッスンとなりました。特に「降りつむ」は短い曲ながらも、フレーズごと、一つの詞ごとの音程、和音、表現等を確認しながらの集中力を要求される練習となりました。(曲の途中で休憩を入れ1曲に1時間半余りを費やすことになり、充実感とともにやや疲れも出るようになりました。期待できる歌へあとひと踏ん張りです。)

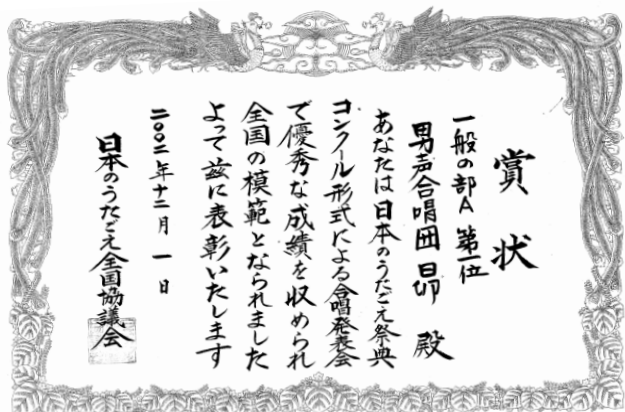


□9月5日(金)から、第1・第3金曜日のレッスンは6:30スタートと時間が変わります。(～8:30)時間は短くなりますが集中して練習しましょう。

□第10回記念コンサート
オープニング曲「春を待つ」について

「2002年日本のうたごえ祭典コンクール形式の合唱発表会の「一般の部A」で第1位を獲得し(この時は第1位は昴のみ1団体)、「彗星のごとく登場した」と全国で評判になった時の曲だと、岡邑さんから紹介がありました。その時の表彰状も掲示されました。

No474(1/3)



昂「団内コンサート」の開催に 期待が集まる！ 8月24日(日)

真夏の歌の饗宴！

男声合唱団「昂」第4回団内コンサート

来たれ！男たるものソリストであれ！

切なる心の思いを・ねがいを・歌にこめて！！
ーソロ演奏の醍醐味をあなたとともに！ー



昂恒例の団内コンサートを今年は8月に開催します
酷暑の夏・豊潤でさわやかな男声のうたごえで乗り切りましょう！！

ご家族・友人・知人のみなさまも昂のミニコンサートにお気軽にお越しください！

日時：2014年8月24日(日) 14:00～

場所：ねむかホール

プログラム：開催のあいさつ

ソロ・小集団(デュエット・カルテットなど)の演奏

奏者は団員(ゲストの客演あり)

ピアニスト演奏

パート別演奏

お客様感想

閉会のあいさつ

□4月から企画し案内しておりました「昂第4回団内コンサート」はいよいよ8月24日(日)に開催される運びとなりました。出演者は30名(個人またはグループ)となり、28名のソロ演奏、2つのグループのデュエット、そしてゲスト(客演)でピアノ伴奏1名・フルートとピアノの競演(1グループ)、4つのパートのパート演奏、2名のピアニストの独奏・・・と多彩な演目が披露されます。期待できる団内コンサートとなりましょう。

市内南部合唱発表会について

9月15日(月・祝) 東成区民センター小ホール(地下鉄今里線西江2分)6F

10:00 集合

リハーサル: 10:10 紫金草

10:20 昂

10:30 グリーン

11:50 シルバー

12:10 コスモス

12:30 審査委員打ち合わせ

本番:15 サークル中7番目

服装:夏シャツ、9条バッジ、黒ズボン

参加費:700円

打ち上げ会:延羽の湯(里山) 区民センターから西へ5分

運営委員会からの報告事項(その1部)

1. 声楽講習会の開催について

日程:9月5日 or 9月19日 講師:吉田さん(近藤先生の紹介)

2. 下関講演旅行について

2015年6月20～23日 下関合唱団創立60周年記念公演との交流を兼ねて(提案)

3. 日本のうたごえ祭典 in 仙台

飛行機の申し込み締め切り:8月17日

貸し切りバス(11/21夜～11/24朝)申し込み受付中

男声合唱団「昂」第10回記念コンサート発表曲企画案が発表されました。

8月17日の運営委員会・企画委員会で検討され、以下のような企画案が提案されました。企画案は改善を重ねる予定です。

(2014.8.17 運営委員会・企画委員会)

男声合唱団「昂」第10回記念コンサート第2次企画案 2016年初春 いずみホール(120分プロ)

先日の合宿で、ベスト20曲選第一次案が提案されました。更に団員80名への拡大の為に、特別団員募集プロを「地底のうた」を中心に据えて企画しようとの、団長の提案もありました。「あまり変り映えはしない、新鮮さが無い」というご意見もあろうかと思いますが。初めてのホール「いずみホール」での10回記念ということで、今までのサウンド、スタイルを更に良くして、もう一度練り直して、最高の演奏を作りたい！と思う。皆さまの更なる挑戦を期待します。

第1部 55分

- ・春を待つ 4
- ・淀川三十石舟唄 4
-
- ・白樺 3
- ・道 4
- ・アムール河の波 6
-
- ・降りつむ 4
- ・なぜ 4
- ・ねがい 6
-
- ・林道人夫 3
- ・死んだ男の残したものは 7

休憩 15分

第2部 25分

- ・初心のうた 新 6
- ・(耕すものへの祈り)新 5
- ・歓びのナーダム 3
- ・川の流れのように 5

第3部 特別団員とともに 25分

- ・地底のうた 14
- ・フィンランディア 4
- ・昂 3
- ・アンコール Six pence 3
- ・ゆらゆら春 5

今後皆さまのご意見を参考にしながら企画のねりなおしをしてゆきたいと思います。
時間は充分にあるようですが、健康や気力が伴いますやら！も